

遺愛女子中学校地学部 2年連続入賞！！

『海の宝 アカデミックコンテスト2018』

北海道大学水産科学研究院主催の「海の宝アカデミックコンテスト」の最終審査が11月10日に行われました。全部で182作品の中から一次選考で選ばれた16組（高校15校、中学1校）が、函館市の北大大学院水産科学研究院でプレゼンテーションを行いました。中学校で最終審査まで唯一残ったのが遺愛女子中学校地学部でした。部員の7名は『二年前の私たちへ 海の宝、みつけたよ』と題して、波の不思議をテーマに発表しました。審査の結果、奨励賞をいただきました。昨年最優秀賞に続き、2年連続の入賞となりました。

顧問の雁沢先生は「かなり時間のない中で作った作品で、多くの団体が生物を取り上げる中で石ころと波がテーマだったので、本選には残れないだろうと思っていましたから、びっくりです。プレゼンテーションでは3回目出場になる3年生がよく練習し、2年生、1年生も工夫して見せる場を作りました。公開練習にご協力いただいた中学の先生方や生徒の皆さんに感謝です。」とおっしゃっていました。

2018年11月21日



11月8日（木）昼休みに遺愛図書室で公開練習を行いました。